

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・英語の歌やゲームを通して、単語や英語表現に親しみながら定着してきている。
- ・リスニング力が定着してきており、大まかな内容を捉えることができる。
- ・積極的にALTとコミュニケーションをとろうとしている。
- ・意欲的に英単語を書き写そうとする様子が見られる。

(2) 課題

- ・大文字、小文字の区別や英単語の習得には課題が見られる。
- ・外国語に苦手意識をもっている児童は、積極的に活動に参加できていない場面がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アルファベットの大文字と小文字の区別が定着していない児童がいるので、繰り返しアルファベットに触れる場を増やす。 ・新しく覚えた文や単語を定着させるために、リーディングの学習だけでなく、ライティングの時間を確保する。	・語順やアクセント、日本と外国の生活習慣や行事など、外国と日本の共通点や違いを知る機会を増やし、言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。 ・プレゼンテーションの機会を増やし、既習の英単語や表現を活用できるようにする。	・既習の表現を使ったALTや友達とのコミュニケーション活動を積み重ねることで、主体的に英語を用いることができるようにする。 ・英語を用いたゲームを活動に取り入れ、英語と慣れ親しむ時間を増やす。